

社会貢献活動

資生堂グループは、2019年に自社のサステナビリティ重点領域をProtect Beauty、Empower Beauty、Inspire Beautyと決めました。当社は社会・地球と共に持続的に発展することを目指しており、当社のサステナビリティ重点領域に関わる活動と、そして自社の強みを活かして地域の課題を解決する活動で社会に貢献していきます。

社会貢献活動の指針

私たち資生堂グループは、社会・地球とともに持続的発展を目指しています。「資生堂グループ倫理行動基準」に沿って、事業を活かして貢献できる社会的な課題解決に努めるとともに、将来にわたって世界中のステークホルダーから支持されるためにそれぞれの地域社会の課題に応える活動に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

資生堂グループ倫理行動基準「社会・地球とともに」

私たちは、広く社会と双方向のコミュニケーションを充実させ、協働して社会的課題解決に努めます。

- (1) 私たちは、広く社会との対話に努め、化粧の力などで人々を元気づけ健やかにする活動、女性支援活動、文化活動、環境活動などに取り組み、グローバル社会からの期待に応えます。
- (2) 私たちは、事業所が所在する地域社会との交流を深め、地域に貢献する活動を通じて、企業市民としての責任を果たします。

詳細は、「資生堂グループ倫理行動基準」をご覧ください。

社会貢献活動の重点領域

「資生堂グループ倫理行動基準」および当社のマテリアリティ（重要課題）に沿って6つの重点領域を定めています。当社のマテリアリティ（重要課題）に深くかかわる3領域「Protect Beauty（環境）」「Empower Beauty（化粧・美容・女性支援）」「Inspire Beauty（芸術文化）」に加えて、地域社会のニーズにこたえる3領域「地域社会・災害支援」「学術支援」「子どものための活動」に取り組んでいます。

社会貢献活動実績ハイライト

2018年の実績

社会貢献活動件数(件)

対象	2018
資生堂グループ	408

参加従業員数(のべ人数)

対象	2018
資生堂グループ	10,040

社会貢献活動への支出（百万円）

対象	2018		
株式会社資生堂	寄付額		※203
	内訳	キャッシュでの寄付	※203
		商品提供による寄付	※0
国内資生堂グループ a)	寄付額		※210
	内訳	キャッシュでの寄付	※210
		商品提供による寄付	※1
海外資生堂グループ b)	寄付額		114
	内訳	キャッシュでの寄付	101
		商品提供による寄付	12

a) 国内資生堂グループ：株式会社資生堂および連結対象の国内関係会社20社（2018年12月31日時点）

（株式会社資生堂、資生堂ジャパン株式会社、資生堂アステック株式会社、花椿ファクトリー株式会社、資生堂薬品株式会社、株式会社エデュセ、株式会社ディシラ、資生堂フィティット株式会社、資生堂アメニティグッズ株式会社、株式会社資生堂インターナショナル、株式会社エフティ資生堂、株式会社ジャパンリテールイノベーション、株式会社ザ・ギンザ、資生堂美容室株式会社、資生堂プロフェッショナル株式会社、株式会社資生堂パーラー、株式会社エトバス、KODOMOLOGY株式会社、株式会社イブサ、株式会社アクス、匿名組合セラン）

b) 海外資生堂グループ：連結対象の海外関係会社58社（2018年12月31日時点）

※ マークで示したデータは第三者検証取得済みです。

詳細は「社会データ」をご覧ください。

取り組み

社会貢献活動の重点領域6つの概要を紹介します。詳細は各リンク先をご覧ください。

1.Protect Beauty（環境）

当社は地球の恵みとして多くの植物原料から商品を生産しているため、環境緑化や環境教育を通じて従業員の意識向上に努めています。

- 長崎県五島列島椿の植林・保全活動
- 資生堂タイランドマングローブ林の植林活動
- 大阪工場 清掃活動
大阪工場では今年度も継続して月1回、工場の横を流れる神崎川河川敷の清掃活動を行っています。2018年の実績 実施回数：計8回、参加従業員数：延べ232人、回収廃棄物量：49kg

2.EmpowerBeauty（化粧・美容・女性支援）

当社のもつ美容技術や女性活躍支援のノウハウを活かし、化粧品事業の認知度の向上やすべての人々にとってより良い社会の実現を目指します。

- 資生堂 ライフクオリティーメーカーシップ
- 資生堂ライフクオリティービューティーセミナー
- ジェンダー平等啓発活動
- 紫外線過敏の難病「色素性乾皮症(XP)患者」への支援
- 資生堂 女性研究者サイエンスグラント
- 資生堂社会福祉事業財団

3.Inspire Beauty（芸術文化）

当社の質の高いものづくりや100年以上にわたる芸術文化支援のノウハウをいかし、現代美術や実験的な表現活動を支援しています。

- アーティスト支援「art egg」
- 芸術文化支援（協賛）活動
- その他
ギャラリー作家への支援として、東京藝術大学大学美術館「1940's フジタ・トリビュート」やニューヨークJapan Society Gallery 森村泰昌 個展「YASUMASA MORIMURA: EGO OBSCURA」等の協賛活動をしています。

4.地域社会・災害支援

社会を見つめ社会とのかかわりを通じて自らを高めていくことが、従業員の成長ひいては会社の成長に繋がります。

- 各地域・事業所による社会貢献活動
- 従業員の寄付による社会貢献「社会貢献くらぶ」
- 災害支援活動
- 東日本大震災における資生堂の取り組み

5.学術支援

当社は最先端の研究に対して積極的な支援（研究助成）を行い、次世代を担う科学技術者の育成や自社の研究レベルの向上につなげていきます。

- 指導的な女性科学者を支援する「資生堂女性研究者サイエンスグラント」
- 先進的な皮膚科学研究を支援する「JSID's Fellowship Shiseido Research Grant」
- 皮膚科学の基礎医学研究を助成する「日本皮膚科学会基礎医学研究費（資生堂寄付）」

6.子どものための活動

当社では子どもたちがさまざまな体験を積み、正しい知識を学ぶことができる活動を実施しています。

- 日焼け予防啓発などの「子どものための取り組み」
- 国内3工場「科学の祭典・全国大会」に出展
2018年7月28・29日に、当社の国内3工場（久喜工場・掛川工場、大阪工場）は協働科学技術館で開催された「科学の祭典・全国大会」に、「自分だけのリップカラーづくり」体験ブースを出展しました。子どもたちに実験や工作を通じて科学技術の楽しさや面白さを体験してもらうことを目的としています。
2018年の実績：参加従業員数：13人、体験者数：約200人
- 資生堂社会福祉事業財団

各地域・事業所による社会貢献活動

資生堂グループは、社会を見つめ社会とのかかわりを通じて自らを高めていくことが、従業員の成長ひいては会社の成長に繋がると考え、各地域・事業所で社会貢献活動を行っています。自社の強みを活かして地域の課題を解決する活動で社会に貢献していきます。

日本での取り組み

今年も集結！「オープンホスピタル」でのハンドケア・カバーメイク活動

2017年10月28日（土）に、京都大学医学部附属病院にて、通院・入院中の患者とご家族、地域住民の方々等に広く開放されたイベント「オープンホスピタル2017」が開催され、今年も来場者の方々にハンドケアやカバーメイクを行いました。

通算6年目の参加となる今回は、サステナビリティ戦略部をはじめ、地元近畿エリアから大阪工場、近畿支社、近畿事業部、デパート営業本部などのメンバーが部門を越えて集結し、総勢18名で活動。247名の方にハンドケアを58名の方にカバーメイクを実施しました。ハンドケアコーナーでは、「去年も今年も来たよ！こうやってハンドケアしてくれることは本当にありがたいね」「また来年も必ず来ますね」と、これまで継続して活動してきたことで大勢の固定ファンがいらっしやることを実感しました。カバーメイクコーナーでは、10月21日（土）に発売したパーフェクトカバー ファンデーションMVを使ったカバー方法や眉の描き方などをアドバイスしました。メイクを受けた方は「気になる部分のみカバーするだけで、きれいな肌色に変身できた」と鏡を見て笑顔になっていました。



【参加メンバーの声】

- ・入院されている方に、ハンドケアをしながら顔をちらっと見ると、とてもイキイキしていました！化粧のちからを近くで感じることで嬉しかったです。
 - ・途切れることのないお客さまへの施術で腕の疲れは大変なものでしたが、「ありがとう」「気持ち良かったよ」の声に、日頃味わえない嬉しさをかみしめました。
 - ・普段直接関わる機会のない他事業所のメンバーと一緒に活動ができ、とても刺激になりました。
- 来年もこの活動を心待ちにしている多くの資生堂ファンのために、京都に集結します！

子どもたちの記憶に残るものづくり体験「リップグロスファクトリー」を出展

資生堂ジャパン株式会社 コスメティクス事業本部 九州・沖縄事業部は、国内3工場（大阪・掛川・久喜）の協力のもと、トヨタ自動車九州株式会社さまが生産拠点の敷地内で開催する「スプリングフェスタ2017」において「リップグロスファクトリー」というワークショップ（ものづくり体験コーナー）を初めて出展しました。

毎年1万人近くの来場客で賑わうこのイベントは、地域の方々やトヨタグループの従業員さまのご家族が心待ちにしている「お祭り」です。「リップグロスファクトリー」は、開場早々に予約券が全てなくなるほどの大人気でした。

今回、小さな子どもたちにワクワクする体験を通じて、ものづくりの楽しさを味わっていただくことができました。今後も、子どもたちの記憶に残る活動を続けていきたいと思います。



咲き誇るお花が銀座を彩る！花壇ボランティア活動

品質保証部では2012年より、中央区緑のアダプト活動へ参加し、銀座の3カ所の花壇管理に取り組んでいます。

32人のメンバーが毎日の水やり、除草、清掃に加え、年4回季節ごとに花壇の草花の植え替えを実施。2名1組の担当表を作成し、メンバー同士の交流も兼ね、当番制で水やりを行っています。

2017年度は、2月24日（金）に「リナリア」「プリムラポリアンサ」を、5月18日（木）に「ナデシコ」「コリウス」の草花をそれぞれ3箇所の花壇に植えました。また、8月25日（金）には「ペンタス」「ニチニチソウ」を、12月1日（金）には「パンジー」「ミニハボタン」を植えました。

「今年も元気に育ちますように！」と願いながら、花壇全体の色のバランスを考えて植え付けを行いました。

これからも銀座の街並みを華やかにできるよう、愛情を込めて育てます！！



昭和大学にて「赤ちゃんからのスキンケア」サイエンスカフェ開催

資生堂グローバルレイノベーションセンターは2017年10月19日（木）、昭和大学キャリア支援室と共催で全学部の4、5年生を対象としたサイエンスカフェを開催しました。

サイエンスカフェは一般的なセミナーとは異なり、研究者が参加者の輪に入って科学の話題を提供し、皆で考えながら科学への理解を深めようというものです。

当日は医学・歯学・薬学部の学生のほか、先生も加わり約20名が参加。ディスカッションでは、将来医療等の専門の場で活躍する学生の皆さんにも役立つ内容として、資生堂の「化粧のちから」と「赤ちゃんからのスキンケアの重要性」に関する研究活動をテーマに、資生堂研究員とサステナビリティ戦略部メンバー計8名で活動を進めました。

学生たちからは、化粧で出来るQOL向上や赤ちゃんからのスキンケアをすることでアトピー性皮膚炎の発症を軽減出来ることに驚きの声があがり、「将来、働く現場で実践につなげたい!」「赤ちゃんのいる友達に教えてあげたい!」といった頼もしい声が聞かれました。また、「シミとソバカスの違いは?」「どんな美白剤が効果があるの?」「使いやすく効果のある日焼け止めが欲しい」など学生ならではの発言や意見が飛び出し、とても賑やかで盛り上がった会となりました。



アジア・オセアニアでの取り組み

芸術大学の学生に美容セミナーを開催

資生堂タイランドは、2017年11月2日に、芸術大学の3年生60名に、スキンケアとメイクアップのワークショップを開催しました。

このセミナーは、日ごろから美と文化を学んでいる学生たちに、資生堂の技術やノウハウを活用して、美に関する知識やスキルを学んでいただき、卒業後の社会人生活に活かしていただくというもので、学生たちからも人気の高いクラスとなっています。

当日は午前と午後の2回行い、それぞれ30名の学生のみなさんに、お肌のお手入れ方法やメイクアップの方法について実習を交えて学んでいただきました。

学生たちからは、「基本的なスキンケアやメイクアップのテクニック、知識について、多くを学ぶことができました。このような機会をいただきありがとうございました。自分の将来にも生かしていきたいです」との声をいただきました。

私たちも、このセミナーを通じて、学生の皆さんによりインスピレーションを与えることができ、とても嬉しく思います。



■ アメリカ・ヨーロッパでの取り組み

毎年恒例、高齢者施設での美容セミナー

資生堂スペインは、年に1度、地域の高齢者施設を訪れ、美容セミナーを行っています。

2017年10月21日（土）に、10名の社員が施設を訪問しました。

社員は2つのグループに分かれ、それぞれスキンケアとハンドケアの活動を行い、施設の方々にお楽しみいただきました。



社会貢献くらぶ

「社会貢献くらぶ」は、社会の役に立ちたいと考える従業員を支援する社会貢献支援組織です。趣旨に賛同した資生堂グループの従業員有志が、寄付や社会貢献活動を行います。当社は従業員が参加しやすい活動プログラムを提供することにより、社会参画の機会を生み出しています。従業員が平日に社会貢献活動を行う際には、勤務扱いと認められる「ソーシャルスタディーズデー制度」※を適用できます。従業員一人ひとりが社会問題解決の視点を持ち、自ら考え行動する風土をつくります。社会参画と視野の広がりから得られた「気づき」や「知」を業務や社内の活動に活かすことで、当社の更なる価値創造につなげます。

※ ソーシャルスタディーズデー制度:従業員の社会貢献を目的にしたさまざまな活動を「社会へ出勤する日」として業務扱いとする制度（年間3日まで）。

■ 資生堂 花椿基金

「資生堂 花椿基金」は、資生堂グループ従業員および退職した社友の寄付金により、社会課題の解決に取り組むNPOやNGO団体を支援する社会貢献活動です。社員は1口100円から、退職した社友は一口1,000円から参加しています。支援する団体については、環境、社会、文化への領域を重点にグローバル展開を視野に社員からの声を反映しながら見直しを行います。詳細は「社会データ」をご覧ください。

■ 災害義援金

資生堂グループ従業員および退職した社友の寄付金を、世界中で発生した自然災害に対する災害義援金として被災地にお届けしています。社員と社友一人ひとりの気持ちが大きな力となっています。詳細は「社会データ」をご覧ください。

2019年度 花椿基金支援団体

領域	支援団体名	花椿基金の支援内容
女性・子ども	全国女性シェルターネット	 DV被害から逃れてきた子どもの就学を支援
	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	 ベトナム北部山岳地域の母子の食糧と栄養源の確保を支援
	ジョイセフ	 ザンビアの妊産婦の命と健康を守る活動を支援
次世代育成	資生堂社会福祉事業財団	 養護施設と里親のもとで育つ子どもの進学を支援
	全国色素性乾皮症（XP）連絡会	 紫外線に当たることができない難病XPの子どもの支援
	JHP・学校をつくる会	 カンボジアに校舎と衛生的なトイレをつくり、若者の未来を支援
環境	WWFジャパン	 インドネシアの森林再生と野生生物と人との共存を支援
	日本自然保護協会	 日本の自然と絶滅危惧種の生息地の保全活動を支援
災害被災地支援	ジャパン・プラットフォーム	 東日本大震災被災地の復興の継続支援
健康	日本対がん協会	 がん患者と家族、がん経験者を支援

「TABLE FOR TWO」の取り組み

2009年に株式会社資生堂で導入した、先進国と開発途上国の子どもたちが、時間と空間を越え食事を分かち合う取り組みです。対象メニューを注文すると、特定非営利活動法人TABLE FOR TWO Internationalを通じて開発途上国の子どもたちへ1食分の給食が届けられる仕組みです。2017年には同法人から「シルバーサポーター」の感謝状をいただきました。開発途上国の子どもたちへの給食提供は、子どもたちの成育を助け、学ぶ意欲を伸ばします。普段の食事で社会貢献できるTFTへの支援をこれからも続けてまいります。

集めてボランティア活動

2005年から開始した、使用済み切手や書き損じハガキを集めて寄付する活動です。途上国の女性・妊産婦の支援と、子どもたちの教育支援に役立てています。「公益財団法人 ジョイセフ」を通じて、途上国の再生自転車輸送費やお母さんと赤ちゃんの命を救う活動に活用頂いています。また「公益財団法人 民際センター」を通じて、タイ・ラオス・カンボジア・ベトナム・ミャンマーの子どもたちのダルニー奨学金として役立てられています。

■ ソーシャルスタディーズデー

1993年から開始した「ソーシャルスタディーズデー」は、従業員の社会貢献を目的にしたさまざまな活動を「社会へ出勤する日」として業務扱いとする制度です（年間3日まで）。社会参画と視野の広がりから得られた「気づき」や「知」を業務や社内の活動に活かすことで、当社の更なる価値創造につなげます。各種ボランティア活動、献血、ドナー登録、地域社会との交流などに利用されています。

災害支援活動

熊本地震の被災者に向けて社員有志から義援金贈呈

2016年4月に発生した熊本地震では、揺れの強かった熊本県、大分県を中心に九州地方の広い範囲に大きな被害をもたらしました。資生堂社会貢献くらぶでは、この災害の被災者に向けてグループ社員有志から寄せられた義援金（総額2,499,500円、支援賛同者3,444人）を、「認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム（JPF）」に贈呈しました。

この義援金は、JPFの「九州地方広域災害被災者支援」のプログラムに沿って、特に高齢者、女性、子ども、障がい者などの災害弱者やジェンダーへの配慮を重視した支援活動に役立てられました。



認定NPO法人ジャパン・プラットフォームにて寄贈



認定NPO法人ジャパン・プラットフォームからいただいた感謝状

ハリケーン・マシューの被災者に向けて社員有志から義援金贈呈

2016年10月「ハリケーン・マシュー」によって甚大な被害をもたらされた「ハイチ共和国」の被災者に向けて、資生堂社会貢献くらぶでは、グループ社員有志から寄せられた義援金（総額418,500円、支援賛同者837人）を、「認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム（JPF）」に贈呈しました。

この義援金は、JPFの「ハリケーン・マシュー被災者支援2016」のプログラムに沿った、加盟NGOによる緊急支援物資（食糧や浄水用の塩素タブレット、脱水症対策の経口補水液などの衛生用品や生活物資）の配布などの人道支援活動に役立てられました。



認定NPO法人ジャパン・プラットフォームにて寄贈



認定NPO法人ジャパン・プラットフォームからいただいた感謝状

東日本大震災における資生堂の取り組み

東日本大震災により、被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

資生堂グループは、ビューティー支援活動をはじめ資生堂ならではの活動を通じて、被災された方々に寄り添い、応援させていただきます。

復興支援の考え方

会社は社会とともにあり、社会の中で生かされています。社会が困難な状況にあるときに、会社は社会の一員としての役割を果たしたいというのが、私たちの思いです。

未曾有の被害を被った東北地方の復興は長い道のりになります。私たちは、人・もの・情報・技術・文化など当社の資源を生かして、被災された方々が自立されることにお役立ちできるよう、長く寄り添ってまいります。

化粧品会社として、被災された方々に少しでも元気になっていただくために、何かできないか。そんな思いから、スキンケアやメイクアップ、ハンドケアなどの美容サービスを行う「ビューティー支援活動」を、震災発生以来、女性のみならず子どもや男性にも行わせていただいています。ビューティー支援活動を通して、化粧品には人の心を癒し、人を前向きにし、元気にすることが出来る「化粧のちから」があることを、当社は教えていただきました。

過去の支援については、「過去のCSR・環境報告」（2011-2013年）をご覧ください。

「椿」が結ぶ復興支援活動

東日本大震災から2年が経過した2013年以降は仮設住宅の環境整備や瓦礫処理などの生活再建期から、住居の自立再建やライフライン・インフラの再建、商店街や地元産業の復興など、復興期へとフェーズが変わっています。また、地域によって復興のスピードも異なります。それに伴い、被災された方々が望まれるものも変化し多様化しています。

資生堂は、お客さまやお取引先などステークホルダーの方々と顔の見える関係をつくり、丁寧な対応をすることを企業活動のスタイルとしてきました。

2013年度からは、化粧品会社だからできる「化粧のちから」を生かした活動としてビューティー支援活動を継続するとともに、当社の資源を活用しながら行政や地域の方々とともに新しい街をつくっていく活動に取り組んでいます。地域の方と顔を合わせて見つけた課題を一緒に考えて乗り越え、成果を積み上げながら確実に復興を進めていきたい。そのため、地域を絞って、新しい街づくりを支援してまいります。

なぜ、この活動をはじめたのか

「椿」が結ぶ復興支援

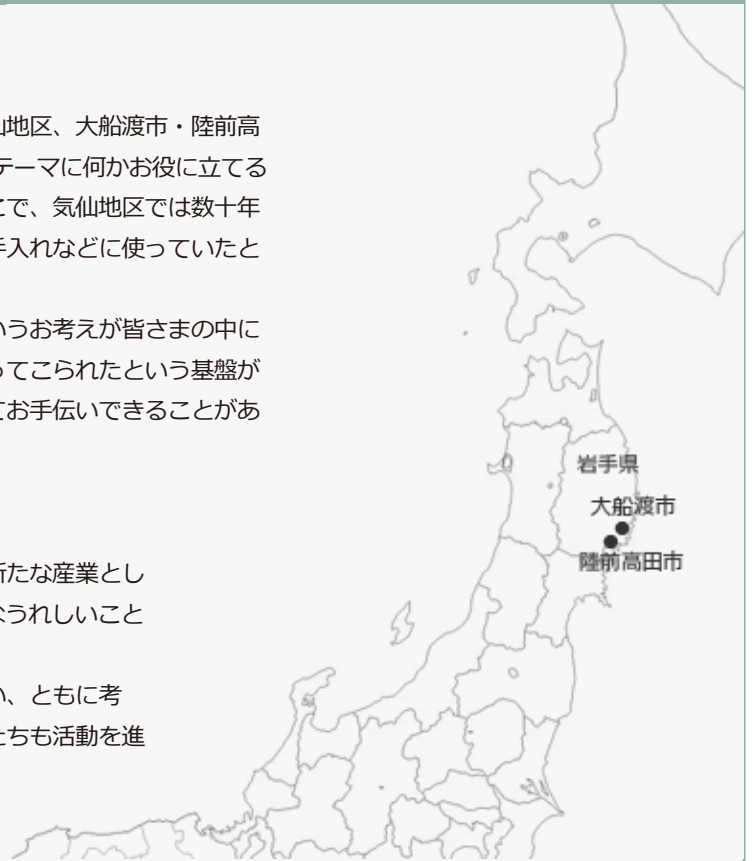
資生堂にとって「椿」はもともとゆかりが深く、岩手県の気仙地区、大船渡市・陸前高田市の市の花も「椿」です。このようなご縁から、「椿」をテーマに何かお役に立てることがないかと考え、街の人と何度も対話を行いました。そこで、気仙地区では数十年前まで、各家庭において椿の実から油を搾り、食用や髪のお手入れなどに使っていたということを知りました。

また、昔から大切にしてきた椿を街の新しい産業にしたいというお考えが皆さまの中にあることや、震災前から大船渡では、椿を観光資源として扱ってこられたという基盤があるということも分かり、この活動に資生堂の資源を活用してお手伝いできることがあるのではないかと考えました。

私たちの夢～具体的なアクションに向けて～

復興に向けてこれからどんどん生まれ変わっていくこの街の新たな産業として「椿」を育てたい、それをお手伝いすることができたらこんなうれしいことはない、こんな夢を掲げています。

気仙地区、大船渡市・陸前高田市にお住まいの方々と対話を行い、ともに考え、この街の皆さまが描く街づくりにお役に立てるよう、私たちも活動を進めることで夢を実現させたいと考えています。



1. 産業化に向けた取り組み

「椿」が街の新しい産業となり、観光資源としても活用できるように椿の植樹活動を毎年行っています。2014年度からは産業化を加速させるための具体策として、日本ツバキ協会様にご協力をいただき、東京の町田から樹齢30年もの椿を運び植樹しています。

大船渡市のご協力の下、これまでに約470本の苗木と約100の成木を植樹しています。（2017年5月現在）

椿で新たなまちづくり。今年も「椿の植樹会」 2017年5月25日、26日開催

2012年から6年目を迎える2017年は、例年の苗木の植樹と、新しいまちのシンボルツリーとしての植樹を行い、活気づく大船渡のまちづくりを応援しました。資生堂からは社員15名が参加し、社会福祉法人大洋会、大船渡市役所、一般社団法人日本ツバキ協会の皆様とともに植樹を行いました。

(1) 椿の苗木の植樹会

2017年5月25日（木）、資生堂と社会福祉法人大洋会が共催し、大船渡市福祉の里大洋会敷地内において「椿の植樹会」を実施し、32本の苗木を植樹しました。「資生堂リラクシングナイトミスト」の売上の一部と資生堂アメニティグッズ株式会社が通販カタログで大船渡の特産品を販売した売上の一部が役立てられています。



記念植樹（右から2人目は
戸田公明 大船渡市長



苗木を植樹する市の職員と
資生堂社員



植樹会の参加者

(2) 椿の成木の記念植樹

2017年5月26日（金）、商業施設「キャッセン モール&パティオ」内に、新しいまちのシンボルツリーとして9本の成木を植樹し、まちづくり会社キャッセン大船渡(株)との共同により記念セレモニーを行いました。



記念プレートの除幕式



幹巻きをする社員



記念セレモニーのようす



復興への想いを込めて、椿の植樹会を開催 2016年6月11日開催

今年も開催 「椿の植樹会」 2016年6月11日開催

2016年6月11日（土）、資生堂と社会福祉法人大洋会が共催し、岩手県立福祉の里センターで「椿の植樹会」を開催しました。資生堂からは20名が参加し、社会福祉法人大洋会、大船渡市役所、一般社団法人日本ツバキ協会の皆さまと共に植樹を行いました。

(1) 椿の成木の植樹会

椿油の原料となる実の収穫を早期に行えるよう、椿の成木20本を植樹しました。昨年に続き、今年も日本ツバキ協会の方に樹齢30年程の成木を寄贈いただきました。

(2) 椿の苗木の植樹会

大きく、たくましく育ってほしいという想いを込めて、大船渡市長 戸田公明様、当社代表取締役執行役員副社長 岩井恒彦、大洋会理事長 木川田 典彌様と日本ツバキ協会 仲村清彦様による記念植樹を行いました。

今回の苗木の植樹には、「資生堂 リラクシングナイトミスト」の売上の一部と資生堂アメニティグッズ株式会社が通販カタログで大船渡の特産品を販売した売上の一部が役立てられています。



戸田公明 大船渡市長（右）と副社長 岩井恒彦（左）による記念植樹



急な斜面に苗木を植樹



植樹に参加した資生堂社員



産業化に向けた椿の植樹会を開催 2015年6月12日開催

「椿の苗木の植樹」 2013年7月12日開催

椿が街の新しい産業となり、観光資源としても有効活用できるように、大船渡市が主体となって産業化に向けた植樹会を開催しました。資生堂からは社員13名が参加し、地元の方とともに植樹を行いました。このとき使用した椿の苗木は、当社の活動がきっかけとなり、長崎県新上五島町から贈られたもので、この日は贈呈された1,000本のうち、約300本の苗木を植樹しました。



植樹の様子



植樹に参加した資生堂社員



植樹後

「椿の成木の植樹」 2014年6月28日開催

椿は成木になるまでに20年程度かかるため、産業化に向けては実の収穫が課題です。椿の産業化を加速させるとともに、観光資源としても有効活用できるように、岩手県立福祉の里センターに成木の植樹を行いました。資生堂からは8名が参加し、社会福祉法人大洋会、大船渡市役所職員の皆さまとともに、一般社団法人日本ツバキ協会の会員の方から東京都町田市を通じて寄贈いただいた成木40本を植樹しました。



植樹の様子



完成した椿並木

「椿の成木と苗木の植樹」 2015年6月12日開催

6月12日（金）、資生堂と社会福祉法人大洋会が共催し、岩手県立福祉の里センターで2通りの「椿の植樹会」を開催しました。資生堂から16名が参加し、社会福祉法人大洋会、大船渡市役所、一般社団法人日本ツバキ協会、RCF復興支援チームの皆さまと共に植樹を行いました。

(1) 椿の成木の植樹会

椿油の原料となる実の収穫を早期に行えるよう、樹齢30年程度の椿の成木30本を植樹しました。植樹した成木は、この活動に賛同いただいた、日本ツバキ協会会員により寄贈されたものです。

(2) 椿の苗木の植樹会

椿の苗木40本を植樹しました。

この苗木の植樹には、2014年当社が発売した「資生堂 リラクシングナイトミスト」の売上の一部と当社の関連会社である資生堂アメニティグッズ株式会社が通販カタログで大船渡の特産品を販売した売上の一部が役立てられています。



苗木に鹿除けを設置している様子



成木の植樹の様子



植樹に参加した資生堂社員

2. 気仙地区の「椿」の認知向上に向けた取り組み



大船渡市の「三面椿」をモチーフにした おやすみ前のフレグランスを発売 2014年10月1日発売

香りは気持ちを和らげたり、リラックス感をもたらします。被災された方に、よい香りで心地よい眠りをお届けしたい・・・そのような思いから、当社のアロマコロジー研究を活かした商品開発に取り組みました。大船渡市末崎町「中森 熊野神社」にある樹齢1400年の日本最古のヤブツバキ「三面椿」の香り成分を配合し、性別・年代を問わず、安らぎを感じていただける新しい香りを開発しました。大船渡の方々にもご協力いただき、就寝前にボディーだけでなく、空間や寝具にも使用できるフレグランスウォーター「資生堂 リラクシングナイトミスト 椿の夢」を開発しました。

当商品は2014年10月1日（水）に資生堂 Webサイト「ワタシプラス」にて限定発売し（2017年1月に再販売）、2016年3月9日（水）に（株）三越伊勢丹の4店舗（※）にて数量限定で発売しました。

売上げの一部は、「椿の里 大船渡」の街づくりに活かされます。

※ 伊勢丹新宿店、銀座三越、日本橋三越本店、仙台三越



資生堂 リラクシングナイトミスト 100ml 1,512円（税込）
ボディーだけでなく、寝具や空間にもお使いいただけます。

2014年10月1日（水） 資生堂Webサイト「ワタシプラス」発売

2016年3月9日（水） （株）三越伊勢丹一部店舗にて発売



椿が結ぶ復興支援 資生堂パーラー「気仙椿ドレッシング」を発売 2014年11月10日発売

資生堂パーラーは、椿を軸にした街の復興をお手伝いする資生堂の復興支援活動に参画し、気仙地区の椿の実を原料とした椿油“気仙椿”を使ったドレッシングを11月10日に数量限定で発売しました（※）。

この椿油“気仙椿”は、原料となる椿の実からとれる種を焙煎し、搾油機を使い、人の手で丁寧に搾り作られています。焙煎した種を使うからこそ、香りが豊かで黄金色のきれいな椿油になるのが特長です。

※ 「気仙椿ドレッシング」は、資生堂パーラー 銀座本店ショップ、A E O Nグループ各社店舗のお歳暮カタログ、そして、11月17日からは特別限定として地元の「らら・いわて」で販売。

単品での取り扱いは銀座本店ショップ、「らら・いわて」のみ各1,080円（税込）



気仙椿ドレッシング 3本セット 3,240円（税込）
オニオン <200ml> 2本・粒マスタード <200ml> 1本



「椿の夢 フェスティバル」の開催 2014年10月4日開催

10月4日（土）、岩手県大船渡市のリアスホールにて、「椿を軸とした街づくり」を支援する活動の一環として、当社が主催する『椿の夢 フェスティバル』を開催しました。

このフェスティバルは、産業資源・観光資源としての「椿」の可能性を、地元の若い世代を中心に体感していただくことを目的に行いました。

イベントは『五感で椿を体感する』をテーマに構成し、香りの効用や発売直後の「資生堂 リラクシングナイトミスト」の効果を解説する「香りセミナー」、椿のデザインをモチーフとした当社の商品・ポスターなどを展示した「ミニギャラリー」、椿油を使用したお料理やお菓子を紹介する「椿の食体験」などを行いました。

「椿の食体験」には、大船渡東高等学校の生徒が参加し、椿油を使った手作りのお菓子を紹介しました。



「香りセミナー」の様子



「気仙椿ドレッシング」を使った料理 スピエディーニのおふるまい



大船渡東高等学校の生徒さんによる、椿油を使った料理・菓子のおふるまい



また、復興を担う地元の若者たちの当フェスティバルへの興味喚起を目的に、高校生を対象とした「ヘア&スキンケアセミナー」を男女別に開催し、ヘアアレンジの方法やきれいな素肌作りのポイントをご紹介しました。

イベントの終盤には、事前公募により選出した地元の若者がモデルとなり、当社のヘア&メイクアップアーティストによる「ヘア&メイクアップショー」を開催。

渋谷109で若者に人気のブランド「CECIL McBEE」「SLY」にコスチュームで協力をしていただき、それぞれの「なりたい私」の実現を行いました。



高校生を対象に男女別に開催した「ヘア&スキンケアセミナー」



「ヘア&メイクアップショー」の様子



「椿の恵 まつり」の開催 2013年11月23日開催

震災後商品化された食用の椿油の認知を上げ、椿の産業化に向けた後押しとなるよう、椿の「食文化」に着目、椿の食体験を通じて、椿の可能性を地元の皆さまとともに体感する機会をつくりたいと考え、「椿の恵 まつり」を企画しました。

このイベントでは、椿油を使った新しいお食事やお菓子のメニューを地元のレストランや和洋菓子店につくっていただき、メニューコンテストを行いました。資生堂からは資生堂パーラー銀座本店の調理長が参加し、資生堂パーラーの看板メニューである「ミートクロケット」を椿油で揚げたものを特別メニューとして提供しました。

そして地元で昔から椿油を使ってつくられていた「けんちん汁」を地元の女性につくっていただき会場で提供し、椿油を知らない子どもたちへの伝承をあわせて行いました。



メニューコンテスト



椿の搾油体験



食体験会場



食体験会場受付



大船渡保育園 園児による
郷土芸能（鹿踊り）

また、別会場（大船渡の椿の観光地：碁石地区）では、産業化を行う上で重要な椿の実の収穫を体験するイベントも行いました。

大船渡の観光地である碁石地区の皆さまと一緒にいき、54kgの実を収穫しました。

収穫した実は、産業化に向けて実の収穫が課題となっている陸前高田の製油所、社会福祉法人 大洋会 青松館に寄贈しました。



実の収穫体験



収穫した椿の実

また、地元の皆さまからご要望いただいたお化粧品教室も開催させていただきました。

お花だけではない「椿」を地元の皆さまとともに大いに感じた一日となりました。



実の収穫体験



収穫した椿の実

3. 次世代とともに椿を育てる取り組み

大船渡市立 日頃市中学校の活動

岩手県大船渡市立日頃市（ひころいち）中学校では、市の花「椿」の理解を深めるべく「椿の学習プログラム」を全校で実施しています。資生堂では日頃市中学校の要請を受け、未来の街づくりの主役となる生徒に「椿の可能性」を体感してもらうため協力しています。

資生堂パーラーとの調理実習 2017年8月28日開催

8月28日(月)、生徒たちは資生堂パーラー指導の特製オムライスづくりや大船渡市の椿油で揚げたクロケットの食べ比べに挑戦しました。

まず、パーラーの総調理長が実演しながらオムライスの作り方を指導。チキンライスを卵で優しく包んで作るポイントを生徒に伝授しました。生徒たちはおいしそうなオムライスが出来上がる様子を真剣に見つめていました。

生徒による実習では、最初は緊張気味でぎこちない手つきでしたが次第に笑顔が多くなり、チキンライスを卵で包む難しい作業も無事成功、見事なオムライスが完成しました。

実食では、自分たちでも作れるんだとの自信と共にオムライスのやさしい味に笑顔があふれました。また、椿油とサラダ油でそれぞれ揚げたクロケットの食べ比べも行われ、生徒たちは地元の椿油で揚げたクロケットの味や香りを楽しみました。



パーラー総調理長の見事な
手さばきを真剣にみつめる
生徒たち



生徒自身による調理



自分たちで作ったオムライ
スを楽しく実食

大船渡市立 赤崎中学校の活動

岩手県大船渡市立赤崎中学校との出会いは2012年9月11日。

津波で被災した赤崎中学校の仮設校舎前に、資生堂の社員が赤崎中学校の全校生徒と一緒に3年生の生徒数の椿の苗木の植樹を行いました。

苗木の横には「椿の里 大船渡」「ふるさとの復興」をテーマに詠んだ俳句のプレートを立てました。この活動がきっかけとなり、赤崎中学校の生徒さんと植樹した「椿」を共に育てる活動を行なってきました。

植樹した椿がやがて大船渡の新しい産業の芽となる可能性があることをお伝えしながら、生徒さんの間で代々受け継ぎ、大切に育ててきました。



俳句集 2012年度・2013年度・2014年度・2015年度・2016年度

俳句紹介

赤崎中学校の3年生の生徒さんが詠んでくれた俳句を紹介します。

2012年度

流された 浜小屋の跡 ヤブツバキ

赤と白 咲いてまもない その命

2013年度

希望のせ 未来の椿 咲き誇る

赤椿 ぱっと咲いて ひらり散る

2014年度

紅く咲く 愛情こもった 椿の木

椿咲く 我が故郷に 夢をのせ

2015年度

海眺め 大船渡の花 椿咲く

赤椿 見守るうちに 花咲かす

2016年度

北椿 郷里の地にて 咲きほこる

青い海 赤いツバキと 澄んだ空



椿を育てる活動（WEB会議・椿日記）

WEB会議の開催

2013年6月より、整備安全委員の生徒さんとWEB会議を始めました。この「椿ミーティング」では、生徒さんが椿のケアをしている中で気づいたことや、疑問に思ったことを持ち寄り情報共有しています。

椿の育成に必要なことを一緒に考え、専門家からのアドバイスをいただきながら、育成のプログラムを作成しました。

赤崎中学校「椿日記」

2013年度より赤崎中学校では、椿を育てる係として「整備安全委員」の生徒さんが担当することに決まりました。

そして顧問の高橋隆先生から椿のレポートが届くようになりました。

私たちはこれを「椿日記」として記録に残すことにしました。

赤崎中学校「椿日記」

2015年度



2015年10月7日（水）

「目標：椿の実3,000個！」

搾油体験の会場ですが、技術室を使おうと考えています。（授業で40人ぐらい入ります。）機械を入れて20人ぐらいは入れると思います。

椿の実ですが、委員長が「集めたい」とポスターを作って呼びかけをしています。



椿の実、いっぱい集まりました！
すごいわ。





2015年10月5日（月）

「鹿にも負けず・・・椿の実集め」

椿の実が学校周辺にもあると思ったのですが、低いところは鹿が食べて高いところしか残っていませんでした。学校に週2日いらしている美術の先生の話では、今でも椿の油を絞って天ぷらなどをあげるよといわれました。そんな話を集めてみたいです。



資生堂から送った椿の木の回収箱です。
フリフリ仕様、リボン付きです。
大切に扱ってくれてありがとう！



2015年9月29日（火）

「椿の実、収穫スタート」

今日の委員会の時間に椿の木の収穫を行いました。
見にくいですが、生徒のもっているビニール袋は今日の給食のパンの袋です。
一人4枚集めてもってきました。これもリサイクル(?)かな。





2015年6月3日（水）

「椿の身体測定」

運動会は雨で順延したり、野球の県大会があったりと何かと忙しいです。
この前の専門委員会の時間に、椿の「身体測定」を行いました。
最初なのでちょっと戸惑っている生徒もいました。



委員のメンバーで椿の「身体測定」



どうやって測ればいいのか...



メジャーで椿の成長をチェック！

椿の水やり&アートです。



椿の水やり&アート



LOVEかな





2015年5月14日（木）

「用務員さん、ありがとう！」2015年5月14日（木）

今週末に運動会を予定している本校は、天気に一喜一憂しています。
ほとんどの椿は花を落としてしまい、少しだけしか残っていませんでした。
用務員さんに椿のまわりの草刈りをしていただき、すっきりしました。



きれいにスッキリ！



用務員さん、ありがとう！



2014年度



2014年11月28日（金）

「鹿に食べられた・・・」

椿が鹿の食害にあっています。
ネットは針金入りの丈夫な物なので安心していましたがかみ切ったようです。
用務員さんに応急措置はしてもらいましたが、今後もあるかもしれません。
出来ることはやりたいと思いますが、今度来た時に見てください。



ネットが破られ・・・



鹿に食べられている・・・





2014年9月4日（木）

「ピッカピカの椿の実」

椿がきれいな実をつけました。学校で飾っています。
生徒は椿の計測を行っています。



大きくなったかな？



ピッカピカの椿の実



椿の成長を計測！



もっともっと大きくなりますように





2014年7月2日（金）
by資生堂

「苗木の植え替え」

世界の椿館 林田館長さんが枯れてしまった苗木を2本植え替えてくださいました。
この苗木は、昨年の6月に長崎県の新上五島町から贈られたもので、
林田館長さんが1年間大切に育ててくださったものです。



大きく育ってね！



植え替えていただいた元気な苗木



2014年6月27日（金）
by資生堂

「ショック・・・」

資生堂チームが現地に入り、葉っぱをチェック！
葉が茶色に変色して枯れてしまったものや、穴が開いているもの、様々な状態が見られます。
幹にアリンコがいっぱい付いている木や、黄色い毛虫がついているものもありました。
これは、害虫のせいかなあ・・・と想像しながら、これ以上大きく育てるのは難しいかも、、、
と思われる苗木もあり、専門家に相談することになりました。
2012年9月11日に植樹をしてから2年9カ月、生徒さんと一緒にここまで育ってきたのに・・・



生徒達も資生堂チームもショック・・・



これ以上大きく育てるのは難しいかも・・・





2014年6月26日（木） **「オブジェ如雨露」**

今日の大船渡は快晴です。

こんな日に生徒達は1日期末テストで机にしがみついています。

そんな中、今朝も椿の水やりをしていた2年生が慌てて教室に戻ったのでオブジェのように如雨露を1つ置き忘れていました。

用務員さんに草刈りをしていただいととてもきれいになりました。

椿の育成について「どうして枯れてしまったのか？」明日相談させてください！！



きれいにスッキリ！用務員さんありがとう！



オブジェ？！置き忘れた如雨露でした



2014年6月2日（月） **「大丈夫かな・・・」**

今日の椿の水やりで気がついたのですが、葉っぱの変色した椿が2株ありました。

大丈夫かな・・・とみんな心配しています。今度来校したときに確認してみてください。



葉が黄色に・・・



こちらの株は茶色に・・・大丈夫かな・・・





2014年5月29日（木） **「雨が止んで水やり開始！」**

この日は午前中雨で、昼休みに雨がやんだので、
友達を誘って水やりをしている3年女子生徒です。



雨がやんで水やり開始！



お友達と一緒に楽しく！



2014年5月28日（水） **「命を燃やして？水やり」**

今月は「運動会」もあり、バタバタしていました。
その中でも整備安全委員会の生徒は「椿の水やり」に命を燃やして？います。
前の日雨が降っていても「水やり」したり、朝雨が降っていても昼に晴れると「水やり」にいたり、
一種のレクリエーションになっているようにも感じます。



整備安全委員会の生徒は命を燃やして？！
水やり



元気に育ちますように！



雨の日以外は必ず水やりをします





2014年4月24日（木） **「メンバー決定！」**

今年度の整備安全委員のメンバーが決まりました。

3年生は、修学旅行などもあり、昨年度のメンバーがそのまま残留します。

2年生は、クラス替えなどがあり改変しましたが、そのままのメンバーが引き続き立候補しました。
椿の世話などにやりがいをもって活動してくれているのかと思います。



2013年度



2014年2月28日（金） **「またまたレスキュー」**

椿の斜面の雪もすっかり溶け春を思わせる陽気になってきました。

斜面の土の下が砂利になっているため、雪囲いの支柱が奥まで刺さらなかったようです。

今日は用務員さんにも手伝ってもらってレスキューしました。



またまたレスキュー
今年は忙しい・・・





2014年2月24日（月） **「最後のWEB会議」**

いつもお世話になっております。赤崎中学校 高橋です。
日当たりのいい、椿の斜面の雪は消えましたが、まだまだ雪が残っている岩手です。
今日も雪かきで腰が痛いです。とほほ・・・
先日の「椿WEB会議」ありがとうございます。
資生堂さんから送っていただいたBigサイズの感謝状には驚きました。



最後のWEB会議
整備安全委員のみなさん、
1年間、どうもありがとう！





2014年2月17日（火）

「強風で雪囲いが・・・」

いつもお世話になっております。赤崎中学校 高橋です。毎週末、寒波で大変ですね。
電車が止まったというニュースを見ました。大丈夫だったでしょうか？
岩手は、慣れていても雪かきが大変でした。
今回の雪はそれほどではありませんでしたが、
強風の影響で椿の雪囲いが2カ所飛ばされていました。
昼休みに2年生の整備安全委員が修復(?)しました。

これはもしや・・・
雪囲いのシート???



僕は初めての雪
囲い。これで次は
バッチリ！

つけ方忘れた



100%OK！

これで椿も大丈夫





2014年2月12日（水） 「東京もすごい雪」

東京もすごい雪でしたね。岩手は雪に慣れています、大船渡は沿岸なので年に何回かしか根雪になりません。今週は、整備安全委員は大活躍です。体調を崩していた委員長も復帰しました。

早く雪が溶けないかな・・・。
赤中 Yuga



みんな元気！
昼休みに雪合戦です



2014年2月4日（火） 「椿の開花」

今週は暖かいですね。学校の周りにも椿の木がたくさんあります。体育館の脇の椿（寒椿？）がこの暖かさで花をつけています。

蕾がだいぶ開いてきました。
これから楽しみです。 赤中 Kaho

きれいなピンクの色の花が
目立ってきました。
赤中 Yohei





2014年1月31日（金） **「雪景色」**

午後から赤崎は雪景色になりました。

※今回から、赤崎中学校の生徒さんのコメント入りです。



雪が降っていますが、
雪囲いのおかげで椿は暖かそうです！

赤中 Yumika





2013年12月18日（火） **「雪囲い」**
by資生堂

今日は、赤崎中学校の整備安全委員の生徒さんと資生堂チームと一緒に昨年植樹した椿が無事冬を越せるように、雪囲いを装着する作業を行いました。

先週までは雪が降っていた大船渡でしたが、今日は晴れ間も見えて、日差しに温もりが感じられる中、世界の椿館・林田館長のご指導のもと、みんな元気で作業を行いました。



世界の椿館・林田館長に
装着方法をご指導いただきました

雪囲いにくるまれた椿は
まるでクリスマスツリーのようにです



つぼみが！



雪囲いを外すころには、
きれいなお花がさくかな・・・





2013年10月17日（木） **「昨日の台風」**

昨日の台風は大変でしたね。赤崎中は臨時休校でした。

今朝の学校の周りは、落ち葉だらけでした。

椿の斜面は、周りの木が根本から倒れていました。

幸い椿は、背丈が低かったので被害はありませんでしたが、椿を支える支柱が何本か折れてしまいました。

雪囲いに使うものだと思いますが、今度いらしたときに見てください。

木が倒れている・・・



支柱が折れて・・・



つばきは無事でした。
よかった・・・





2013年9月10日（火）

「椿の生長」

椿は生長が大きくないので、劇的な変化は見られませんが、植え替えした椿と比べると生長の度合いが分かってうれしいです。

椿の実がついている木が一本だけそれも2つもこれをどうしたものか??

次のWEB会議の議題にしてもおもしろいかもしれませんね。



東京は相変わらず暑い日が続いているようですね。

大船渡は、昨日今日は暑さが戻ってきました。今日の朝の水やりの様子です。

2人の生徒が張り切ってやってくれました。

いつも
ありがとう★





2013年8月2日（金）

「夏休み中の水やり」

久しぶりにメールするような気がします。

東京は暑い日が続いているでしょうか。

こちらは梅雨明け宣言がまだ出されていない状態でパツとしない天気が続いています。

夏休み中の水やりも雨降りの関係で部活が学校で行えない人も多く、生徒がせっせとやっています。

本人曰く「体力作りにちょうどいいです」とのことです。



2013年7月11日（木）

「天候不順で・・・」

東京は暑そうですね。大船渡はこの頃ぐずついた天気です。

朝晴れたと思ったら、昼頃から雨になるということの繰り返しです。

委員会の生徒も水やりをする機会がなくて、寂しそうです。

前日雨で濡れていても、朝晴れていると水やりをしている生徒たちです。

明日、大船渡ですね。雨具の準備をお忘れなく！





2013年6月28日（金）
by資生堂

「苗木の植え替え」

今日は、資生堂チームとみちのくふる里ネットワークのメンバーで、かねてから気になっていた枯れてしまった椿の植え替え作業を行いました。

気温13度、少し肌寒い中での作業となりましたが、みんな元気いっぱい、今度こそ元気に育ってね！という想いで作業を行いました。途中、教室から生徒さんが顔を見せて「ありがとうございます！」と声をかけてくれて、感激！

また、椿の根っこを確認したところ、前回のWEB会議でお願いした、刈った草で根の周りを囲む、敷き藁がしてあって、またまた感激！みんな、ありがとう！



大人、頑張る！
穴掘りは男子、植え込みは女子担当。





2013年6月25日（火） 「水まきアート」

昨日はありがとうございました。生徒たちは、初めての体験でうれしかったようです。
将来資生堂に就職したい生徒も出てくるかもしれません。今日も大船渡はいい天気です。用務員さんが下草を刈ってくれました。
2時間で半分くらいでした。午後から残りをやってくれるそうです。
朝からテンションの高い2年生は「水まきアート」なるものをしていました。
（その中のひとりが38.4℃の熱で早退しました。朝は何ともなかったのに・・・）



水まきアート！



2013年6月24日（月） 「初めてのWEB会議」

WEBミーティングありがとうございました。生徒たちも緊張していました（始まる前はもっとはしゃいでいたのに）
準備不足であまり質問も出なかったのですが、それが普段の姿です。申し訳ありません。
またよろしくお願いします。





2013年6月14日（金） 「タンポポ畑？」

今日の大船渡は、久しぶりに青空が見えました。（午後は雲行きが怪しいですが）

整備安全委員の生徒も久しぶりの水やりでした。

隣でボランティア委員会生徒がアルミ缶回収をやっていて、その中の女の子が、水やりを手伝ってくれました。

「普段は樺の水やりをする機会がないので、楽しかったです。」と笑顔で答えてくれました。

写真に写っているでしょうか？

タンポポの花がきれいに咲いています。

きれいなんですが雑草なんですよ・・・



タンポポがいっぱい。
かわいいね。



ボランティア委員会の
生徒さん





2013年6月11日（火） **「元気いっぱい 2年生！」**

昨日はありがとうございました。（⇒WEB会議のテストのこと）

委員長も楽しそうに参加していたのが印象的でした。

今日の大船渡は、予報は28℃ですが、現在は18℃（やませが入って）です。

日中も上がりそうありません。

2年生女子の水やりの生徒です。

「水やりがんばりました。」

と明るく話していました。



2013年6月6日（木） **「山背（やませ）」**

今日の大船渡は、朝はお日様が出ていましたが、日中は霧（この地域では「やませ」と呼ばれています）が出て、肌寒く感じられました。

その中で生徒は、1・2年は大曲中から頂いた花の水やり、3年生は椿の水やりを元気に行っていました

1・2年生の生徒さん



3年生の生徒さん





2013年6月4日（火）

「今日も快晴」

大船渡も昨日今日といい天気が続いています。
太平洋を見ながら授業するのはとてもいい気持ちです。
生徒達の水やりもこの天気だと気分良くやっているようです。



椿が咲いていまーす！



2013年5月30日（木）

「生徒の思い」

今日の大船渡は、霧です。朝の水やりが出来ないで生徒達は残念がっています。
追伸：生徒は椿が・・・という気持ちで、水やりをしているそうです。（写真の3人からのコメントです）



大きく育ってほしい！



きれいに育ってほしい！

元気に
育ってほしい！





2013年5月23日（木） **「椿が咲いた！」**

今朝も大船渡はいい天気です。
生徒も元気に水やりをしていました。
椿も一輪咲いています。



2013年5月22日（水） **「整備安全委員の活動」**

大船渡は今日もいい天気です。
今朝も委員会の生徒が、いい表情で水やりをしていたのでお送りします。
「水やり楽しいか？」「楽しいです！」と元気に返事をしてくれました。





搾油体験会 2015年11月17日開催

「椿を育て」⇒「実を収穫し」⇒「実から油を搾る」

産業化に向けて重要なこの一連の活動を生徒さんと共に体験することを通じて、より一層「椿」に関心を深めていただき、

「椿」で産業化を目指す大船渡市の後押しとなることを目的に椿の実から油を搾る体験会を開催しました。

当日は、30名ほどの生徒が参加し、大船渡の伝統的な搾油機による搾油を見学した後、実際に家庭用の搾油機で搾ってみる体験を行いました。搾油後には、椿油を活用した事例を知ってもらうために資生堂パーラー「気仙椿ドレッシング」の試食会も行いました。

参加した中学生たちは、「椿の実にさわって搾ったりするのが初めてだったので、とてもおもしろかったです」「実際に搾ってみると、思ったより力があるし、ほんの少しの油しかでてこないとわかりました」「椿オイルが、いろいろなものに使われているというのを、初めて知りました」と楽しそうに語ってくれました。



家庭用の搾油機による搾油体験



「気仙椿ドレッシング」の試食会の様子



参加した生徒さんと記念撮影

<赤崎中学校の先生からのお手紙>

この度は、本校において椿の搾油体験会を実施していただきありがとうございました。

資生堂とは「椿」の縁で交流してはや4年の月日が流れ、震災の記憶も記録も薄らいでいく昨今において、震災後に植えた椿がすくすく育つように、WEB会議や俳句集の贈呈式など以前と変わらず、いやそれ以上に温かく大船渡・赤崎中を見守っていただいた事を感謝しております。

今回の搾油体験に参加した生徒は、本当に楽しそうに活動しました。

そして、大船渡の誇りであった「椿」を再発見する機会ともなりました。

今私たちはいつも支援をされる側にいますが、この子ども達がいつか支援する側、大きくいうと世界貢献する側になってくれることを期待しております。

4. 復興支援マルシェ

当社がサポートしている気仙地区の商材を集めて社内で販売する「復興支援マルシェ」を2013年度より毎年、資生堂汐留本社オフィスにて開催しています。

<マルシェの目的>

現地	▪ 気仙地区の認知向上 ▪ 新たな販路の開拓
社員	▪ 復興支援活動を知ってもらい、共感してもらう機会 ▪ 復興支援で何かお役に立ちたい！社員の気持ちを叶える機会



復興支援マルシェの様子

非常時の美容について

災害非常時におけるお手入れの方法や、化粧品の効果的な使用方法について、幅広い情報を発信しています。

非常時の美容について

災害非常時におけるお手入れの方法や、化粧品の効果的な使用方法について、幅広い情報を発信しています。

被災地での肌と髪ケア これからに向けて。メーキャップができること。

SHISEIDO

非常時の美容について

災害非常時におけるお手入れの方法や化粧品の効果的な使用方法について幅広い情報を発信しています。

SHISEIDO

被災地での肌と髪のカケア

これからに向けて。
メーキャップができること。

「非常時の美容」はホームページでもご紹介しています。
http://www.shiseidogroup.jp/csr/shien_support/beauty.html

発行：2014年9月 編集・制作：グローバルバージョンセンター、CSR部 発行元：資生堂ビューティークリエーション部

被災地での肌と髪のカケア

「リフトアップ」の笑顔体操

緊張が続く日々だからこそ、意識的にほぐすことも大切。「リ・フ・ト・アッ・プ」と発音しながら、各ポーズで10秒ずつキープする簡単な顔体操です。すがすがしい朝のうちに1分。1日の始まりは笑顔から。カタチをつくることから、気持ちがポジティブに動きます。笑顔体操は、魅力的な表情を導くフェースマッスルプログラムをもとにし、簡易化してつくっています。



メーキャップで、元気になる

メーキャップには、女性を元気にする心理的な効果があります。たとえば眉を整えてみるだけで、素肌に軽くほお紅をのせるだけで、明るい表情が生まれてきます。そして何より、あなたが明るい顔をしていることで、あなたのご家族や周囲の人々も、元気になることができます。「まだメークなんて」と決めつけずに、少しずつでも、あなたらしい美しさを取り戻していきましょう。

ひさしぶりのスキンケア

少しずつ通常の生活に戻っていく中で、きちんとしたスキンケアができるようになる日は、必ずやってきます。そんなときに、まず何をすればいいのでしょうか。2か月以上もスキンケアができていない肌は、かさついたりごわついたりしていることと思われま。まず必要なのは保湿ケア。化粧水や乳液をたっぷり使った朝晩のお手入れを。そして日中の紫外線対策をしっかりと。特別なことをするというより、日常的なお手入れを着実に続けていくことで、肌も、ふだんの状態へと帰っていくことができます。



洗顔フォームがない場合、 浴用石鹸で洗顔できる？

洗顔用ではない浴用石鹸やボディソープなどで顔を洗うと、肌がつっぱって乾燥しがち。そういう場合は、まずあぶらっぽい部分（額や鼻などのTゾーン）にだけ泡をつけて洗って。流すときに顔全体に泡を広げようすると、乾燥しやすい頬や目の周りのうるおいを奪わないで洗顔することができます。水の節約にもなります。



洗顔は、1日何回？

洗顔フォームによる通常の洗顔は、朝晩の2回が原則。洗いすぎは、肌に必要な保湿成分まで失われてしまいます。ただし、汗やホコリがついたままにしておくのも肌には良くありません。汚れたら、水やぬるま湯だけで軽く洗い流す程度の洗顔。

制汗剤があるときは

スプレー式やシート式の制汗剤がある場合、汗を十分にふきとってから使うのが効果的。成分が汗といっしょに流れ落ちてしまうと、効果を発揮できません。また、顔用と明記されているもの以外は、顔には使わないでください。

**汗をふくときは、やさしく**

顔の汗をふくときは、できるだけ清潔なタオルで、肌に負担を与えないようにやさしく押さえるようにふきとってください。ゴシゴシ強くこすると、摩擦で肌表面の角層に細かな傷がつき、そこから水分が失われて乾燥の原因になってしまいます。

「首のうしろ」がポイント

屋外にいると特に日やけしやすいのが、首のうしろ。作業のために髪をしばっていると、気が付かないうちに真っ赤になっていたりします。つばの広い帽子をかぶる、タオルを巻く、シャツの襟を立てるなどでカバーしてください。また首のうしろのけい動脈を冷やすことで、特に首から上（顔や頭皮）の汗を抑えることができます。濡れタオルなどを首に巻くだけでも、ひんやりとした心地よさが続きます。

ファンデーションが使えるなら

日やけ防止のためにも、ファンデーションをつけることをおすすめします。日ざしを受けやすい「鼻」や「ほおの高い部分」をしっかりカバーしましょう。

**日やけ止めは、落としやすいものを**

レジャー用などの、汗や水に強いタイプの日やけ止めには、落とすときに専用クレンジングを必要とするものがあります。十分なクレンジングができない環境では、こうした防水タイプの使用はできるだけ避け、普段使用している洗顔料で落とせるタイプの日やけ止めを選び、こまめに塗りなおすつもりで。

紫外線対策は、男女を問わず

5月から6月にかけての紫外線は、すでに真夏並みの強さになっています。紫外線は肌の大敵なのはもちろんですが、体力まで低下させ、疲れやすくなる原因にもなってしまいます。特に屋外作業などをする場合は、女性だけではなく、男性にもしっかりと紫外線対策をおすすめします。

**ずっとスキンケアしてなくて、不安**

ご自宅で生活していても、物流事情などでいつものスキンケアができない、という方も多いと思います。長期間スキンケアができないと不安になります。肌は自ら健やかで美しくなる力をもっていますから、お手入れする化粧品が手に入ってから、丁寧なお手入れをしてあげれば大丈夫です。ただ、心がけておきたいのは、できるだけ肌を清潔に保つておくこと。気分の問題だけではなく、トラブルの防止につながります。

**肌のために、かんたんにできること**

特別なテクニックを知らなくても、手を合わせて揉むような簡単なマッサージをこまめに行うと血行が活発になり、代謝がよくなって温かくなります。特に、冷えやすい手指や膝から下、足指を重点的にもんだりさすったりすることをおすすめします。あまりゴシゴシと強くこすらないように。また、マスクや手袋で顔や手を覆っておくことは、防寒だけでなく肌を乾燥から防ぐ意味でも効果的です。

**爪のカケア**

十分なケアができない状態で爪をのばしておくと、欠けたり、雑菌によって感染症の原因になったりします。短く切っておくことをおすすめします。

**顔や唇の乾燥を防ぐには**

ネットで検索すると、肌の乾燥防止のために食品などで代用する方法を目にすることがあります。誤解されがちなのですが「食品（口に入れるもの）なら肌につけても安全」とは限らないことにご注意ください。かえって肌トラブルを起こす原因になる場合もあります。化粧品がなく、唇が荒れてやむをえない時に食用油などを少量つける場合は、手の甲や腕などに少量ぬってしばらく置き、赤くなったりかゆくなったりしないか必ず確認のテストを行ない、かゆみなどを感じたらすぐに中止してください。（特にアトピー性皮膚炎などの皮膚疾患をお持ちの方は十分にご注意ください）

**洗顔シートなどの使い方**

まず顔を拭く→首やわきの下等、からだの汚れやすい部分、においの気になる部分を拭く→最後に足の汚れなどを拭く、という順番で使うと、少ない枚数を効率的に使うことが出来ます。



被災地での肌と髪へのケア



洗顔ができないときは

ウエットティッシュやボディ用シートなど、肌に見えるシート類が入手できれば、それらで顔を拭くこともできます。ただ、スーナーするメントールやアルコールを含んだものは、しみる場合もありますので、あごの下の部分等で問題がないか確認するようにしてからお使いください。皮膚の薄い目のまわりは避けるようにしてください。また、水が使えないときに、メーク落としのためのクレンジングシートで顔のよごれを拭いた場合は、その後、ウエットティッシュや濡れコットン等でもう一度肌を拭くようにしてください。メーク落とし成分が肌に残ったままだと、トラブルの原因になってしまうことがあります。

水でシャンプーしてもいい?

お湯が使えないという場合、泡立ちが物足りないかもしれませんが、水でシャンプーすることも可能です。ただ、冷たい水ではさすがに雑になりがちです。トラブルにもつながりますから頭皮を中心に泡が残らないようしっかりとすすいでください。お湯が使えず、水が冷たく十分にすすげない場合は頭皮を拭くだけにしておくことをおすすめします。



できるだけ少ない水でシャンプーするには

まず先に少量の水で泡を立ててからシャンプーします。何ヶ所か少量ずつ、地肌に直接泡をつけ、頭皮を揉むように洗っていきます。すすぐときも、濡れタオルなどで地肌に付いた泡を拭きとってから、地肌を中心にすすぐと、水の量を節約できます。

水のいないシャンプーの使い方

頭皮と髪全体に適量を塗布し、軽くマッサージした後、タオルなどで拭きとります。

髪が洗えないときは

髪はしばってまとめておいたほうがもつれず、汚れにくくなります。バンダナなどで髪をおおたり、帽子をかぶったりするのも効果的です。



水が十分に使えないときの髪のケア

まずブラッシングや指などで髪の流れを整えておきます。そのあと、髪を少しずつブロックに分けて、分け目の地肌を濡れタオルやウエットティッシュなどでいいに拭いていきます。地肌を拭くだけでもだいぶんさっぱりします。特に額の生え際から頭頂部にかけて、頭の中心線付近に、あぶらっぽくべたつきやすいので念入りに。

これからに向けて。メーキャップが活躍します。



はじめに

資生堂では、現在避難所において、女性の方にはフェースマッサージを、男性やお子さまにはハンドマッサージなどを行うビューティーボランティア活動を実施しております。また化粧水や乳液などをひとつにした化粧品のセットを、お渡ししながら使い方をお伝えしています。みなさんからは「本当はずっとお化粧がしたいと思ってたの。」「気持ち明るくなった。」そんな声をうかがうことができました。

店頭に立つビューティーコンサルタントたちは、あの日以来、ずっと悩み、迷っていました。お客さまになんと声をかけてさしあげればよいのだろうか。化粧品会社に勤める自分は、こんな状況で、化粧品によって、一体何ができるのだろうか。無力感にさいなまれ、そして何より彼女たち自身が被災者でもあったのです。

そんななか、メーキャップアーティストであり、資生堂ビューティトップスペシャリストの岡元美也子が、仙台におもむき、現地のビューティーコンサルタントたちにメーキャップセミナーを行いました。そこで、あらためて感じたのはメーキャップのちからだったのです。

今回の特集では、岡元美也子がメーキャップについてお話しします。かざられたなかでも、効果的に美しさを引き出す方法や夏を少しでも涼しく感じるための方法などをお伝えします。

もしも様々な状況が許すのであれば、気持ちを明るくしたり、前に進むきっかけとしてメーキャップという手段がある、ということを少しでも胸にとどめていただければ。そう願いながら進めたいと思います。

化粧は「飾る」だけじゃない。元氣もつくることができる。

一被災地に行って、気づいたことはありましたか?

あらためて自分を慈しむことの大切さを感じました。お化粧が「賢沢」や「不謹慎」とためらわれている方も多いのですが、やはり女性にとつては、化粧は毎日の生活に根づいた「日常」そのものであること。その化粧という「日常」を行うことで、日常を少しでも取り戻すきっかけになるのではと気づきました。そして何よりお化粧が、やる気や元気のスイッチになっていること。自分が疲れていると、周りも元気にできない。逆に自分が元気でいることで、周りのみんなも元気になるのでは、と思います。今回は「美しくメークをしている」と見せることが目的ではありません。元氣な印象をメーキャップの力を借りて補う。メーキャップで元氣になる。ということを意識しました。

一それはどんなものでしょうか?

元氣にみせるために、それほど多くの道具やテクニックは必要としません。ただ大切なことがあります。例えば、血色感や、つや、みずみずしさ。これらは生命力や元氣の象徴であるからとても重要です。ほかにも、これからの季節を快適に過ごすための方法などをご紹介します。



資生堂トップヘア&メーキャップアーティスト
岡元 美也子 OKAMOTO MIYAKO

資生堂約12,000人の美容に関わる社員の頂点である「資生堂トップヘア&メーキャップアーティスト」。5年間のNY駐在を経て、現在はNYコレクションを中心に数多くのメゾンでメークチーフを務めている。最先端のモードの現場で蓄積したトレンド情報をわかりやすく解説し、TV・雑誌への出演、商品プロデュースなど多方面で活動中。「シンプル・モダン・リアリティ」をベースとしたメークテクニックに著名人からも厚い信頼を寄せられている。また、自ら開発に携わった「資生堂ファンデーション131」は、発売後約1年で100万本を超える大ヒットとなり、2012年度には「ベストコスメ総合大賞」など3冠を受賞。



これからに向けて。メーキャップが大切になっていく。

メーキャップを始める前に

乾燥よりも汗やべたつきのほうが気になる場合は、せっかくメークをするのですから、ずっとキレイを保てるように最初にちょっとしたコツがあります。それはなるべく涼しい状態でメークを始めること。うちわであおいで、顔を涼しくしたり、保冷剤があればタオルに包んで顔を冷やしたり、水でぬらしたタオルを顔にあてるだけでも違います。メーク中も冷たいタオルを首にのせたまま行えば、メークした先から、汗でくずれてしまうことも防げます。



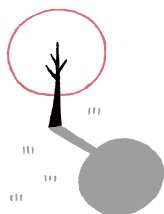
チークで、サツと元気感を

ほおの血色感、明るさ、元気さの象徴になり、笑顔がより際立ちます。現地ではマスクをしている方もいらっしゃいますが、もし機会があれば、チークをお使いになってはいかがでしょうか。元気に見える色はオレンジ系、かわいらしい印象がお好みならピンク系を。にこっと笑ったときに、ほおが高くなる位置を中心に丸く入れましょう。指でつけてかまいませんが、コットンを裂いて、裂け目のふわふわしたほうに粉を含ませて、ブラシ代わりしてもきれいに付きます。



できれば日ざしからは守ろう

「ファンデーションや、ポイントメークまではまだちょっと」と思っている方も、手に入るならば、日やけ止めを塗って紫外線から肌から守りましょう。化粧下地でもかまいません。カラーコントロール効果で、美肌に見せるタイプや、石けんや洗顔フォームで落とせるタイプのももあります。



マスクや帽子の方こそ、眉を描いて

マスクに加えて帽子を着用されている方も多いと思います。紫外線を防止する上では大変よいのですが、顔に影を落とすので、眉を描くとグンと顔がくっきりします。もし手に入る機会があるなら、パウダータイプのアイブローパレットなどがおすすめです。削る必要がありませんし、アイシャドーにも使えます。少し太めの眉に仕上げると、若々しくイキイキとした印象になります。カジュアルな服で過ごす方も多いと思いますので、お似合いになると思います。毛流れを整えるだけでも効果的です。指でかまわないので、上向きに整えてください。顔にはつらつとした力強さがでます。ぜひ男性もお試ください。逆に自分は眉がしっかりあるな、という方は無理に描く必要はありません。

これからに向けて。メーキャップが大切になっていく。

瞳に光を与える、まつ毛へのくふう

マスカラを塗らなくても、アイラッシュカラーで上げるだけでも全然違います。まぶたが持ち上がって、光が入り、瞳がキラキラするんです。これも立派なアイメークです。カーラーがない方は、指でもだいじょうぶです。「指先のカーラー」をお試しください。人差し指の丸みにあわせるように、まつ毛をのせ、下から持ち上げるようにぐっと指を上げます。毛先を軽く押し当てるように2、3秒キープ。指の体温の熱でアイロンするイメージです。



元気に見える肌づくり

ファンデーションは、元気に見えるための以下のポイントを特にカバーしましょう。・目の下のクマ・小鼻のワキ・口角のサイドライン（下がって見えるので、影を消す）

涼しくすごすための知恵

清涼感のあるローションなどを胸もとや首すじなどにつけたあと、うちわであおぐだけでも涼しさがアップします。あせもなどが心配なときは、あればポディーパウダーやベビーパウダーを使って、汗がこもりがちなひざやひじの部分、胸もと、背中などにつけましょう。



目もとに、輝きを乗せて

アイシャドーがあれば、パールやラメが入ったものを使うと、目もとの印象が明るくなります。色は淡いブルーやグリーンなど涼しいパステル系の色はさわやかでおすすです。しっかりつける必要はありません。かえって腫れぼったい印象になってしまう。肌の色が透けて見える程度でかまいません。色をつけるというより、透明感を乗せる感じでしょうか。綿棒の先端を指先にはさんで平らにつぶせば、チップの代わりができます。アイラインを描くときにも便利です。

使えるものが限られた状態でも、美しさは、引き出せます。

すべてできないからこそ、新しい美しさの発見があります。そして自分の顔を見つめると、自分のメークの優先順位がわかってくるはず。そこを中心に補ってあげればいいんです。眉からだけでも、ずいぶん印象は変わってくるはず。またポイント絞ってメークすることでメリハリが利いて、その人の長所を、より生かした輝きが増すんです。今だからこそ、自分のよいところを見つけて、たくさん愛してほしい。そのためにメーキャップが少しでもちからとなり、前に進むためのエネルギーとなればこんなにうれしいことはありません。

子どものための取り組み

当社では子どもたちがさまざまな体験を積み、正しい知識を学ぶことができる活動を実施しています。

ジュニア層へ向けた美容生活情報の提供活動

化粧品使用の低年齢化に伴い、自己流の使い方によって肌あれなどを起こす子どもが増えています。資生堂では、子どもたちに、自分自身で健やかな肌を守るようになっていただくために、紫外線対策や洗顔方法などの美容生活情報をわかりやすく発信しています。

2009年に始まり、これまで約6,000名の児童に出会いました。

実績は「社会データ」をご覧ください。



「資生堂子どもセミナー」の様子

小学生対象 出前授業



資生堂子どもセミナー

資生堂子どもセミナーは、全国の小学校で行っている無償の出前授業です。肌が変わる思春期直前の小学校4・5・6年生の男女児童に、「肌」や「清潔」についての情報や、一生続けられる正しい肌の手入れ法を実習を交えお伝えしています。

「肌を大切にする」「肌を清潔にする」ための情報や、「肌を守る」ための正しい手入れ法を知ることで、にきびや肌あれが起きたときも、悩んだり、むやみに人目を気にしたりせずに、子どもが自分できちんと対処できるようになり、それが自信の育みへとつながります。

【2つの授業】

正しい洗顔

肌と汚れの関係を知り、
肌を清潔に保つ方法を学びます

日焼け予防

紫外線が肌におよぼす影響を知り、
紫外線から肌を守る方法を学びます



資生堂マイクレヨン プロジェクト

「資生堂マイクレヨン プロジェクト」では、「自分らしさ」や「個性」について学ぶことができる出前授業を行なっています。

「肌色」をテーマに、特別に作られたさまざまな色の肌色クレヨンの中から、あなた色のクレヨンを見つけます。そのクレヨンを使って自分の顔を描き、自分だけの特別な肌色があることに気づきます。

さらに、考え方や価値観の違いにも議論を発展させ、その違いを認め合うことが大切であることを伝えていきます。



教諭対象 養護教諭研究会



小中学校の養護教諭を対象にした養護教諭研究会での講演「～健やかな毎日のために～日焼け予防と正しい洗顔」を行っています。

養護教諭研究会は、市町村など地域ごとのブロック単位で実施する養護教諭の勉強会です。本講演では児童・生徒の健やかな肌づくりのための情報伝播を加速するために「日焼け予防」と「正しい洗顔」を核に、実習もふんだんに取り入れて推進しています。

ウェブサイト

「キッズのためのキレイクラブ」での美容生活情報を発信しています。



保健授業をサポートする教材

保健授業をサポートする映像教材（DVD）・児童配付用リーフレットを無償で提供しています。

「資生堂子どもセミナー」「無償教材」のお申し込みは、「キッズのためのキレイクラブ」内専用申し込みフォームからお願いいたします。

お問い合わせは、メールにてお願いいたします。